

第一貨物社長

武藤 幸規

ひる

怯まず臆せず取り組む

昨年は燃料価格の高騰や、ドライバーをはじめ雇用確保難など相変わらず厳しい年でありました。

反面、新政権による大規模な金融緩和策をはじめ



め諸政策により、景況は徐々にデフレ解消に向けて動き出した年でもありませんでした。そのことより近年とは異なり、人出不足にあっての物量増という局

面となりました。そして、おそらくこの状態は年が変わった本年も、4月の消費税増税による一時的な物量増加が後押しすることもあり、3月までは一段とその傾向をたどると予測されます。

増加、さらには労働時間の延長などの課題は残っているものの、業績は社員の皆さんの努力が実を結びつつあります。いずれにしろ、今後とも数多くの課題や、困難な事態に見舞われると思いますが、怯まず、臆せず、逃げずに取り組み、いずれそのことが勝利に結びつくことと信じ力を尽くしましょう。